

次郎長三国志 オ一部 次郎長賣出す(52/東宝) 次郎長三国志 オ二部 次郎長初旅(53/東宝)◆原作・脚色:村上元三 脚色:松浦健郎 撮影:山田一夫 監督助手:岡本喜八 出演:小堀明男、若山セツ子、森繁久彌(オ二部)、田崎潤、森健二、河津清三郎、田中春男、広沢虎造

次郎長三国志 オ三部 次郎長と石松(53/東宝) 次郎長三国志 オ四部 勢揃い清水港(53/東宝)◆原作:村上元三 構成:小国英雄 脚色:松浦健郎 撮影:山田一夫 監督助手:岡本喜八 出演:小堀明男、若山セツ子、森繁久彌、久慈あさみ、小泉博、加東大介(第四部)、田崎潤、森健二、河津清三郎、田中春男、広沢虎造

次郎長三国志 オ五部 段込み甲州路(53/東宝) 次郎長三国志 オ八部 海道一の暴れん坊(54/東宝)◆原作:村上元三 脚色:松浦健郎(オ五部)、脚色:小川信昭、沖原俊哉(オ八部) 撮影:飯村正 監督助手:岡本喜八 出演:小堀明男、森繁久彌、小泉博、水島道太郎(オ八部)、志村喬(オ八部)、越路吹雪(オ八部)、青山京子、田崎潤、森健二、河津清三郎、田中春男、広沢虎造

彌次喜多道中記(38/日活)◆原作・脚本:小国英雄 撮影:石本秀雄 音楽:古賀政男 出演:片岡千恵蔵、杉狂児、河部五郎、ディック・ミネ、楠木繁夫、香川良介 鴛鴦歌合戦(39/日活)◆脚本:江戸川浩二 撮影:宮川一夫 出演:片岡千恵蔵、市川春代、志村喬、ディック・ミネ、遠山満、深水藤子

昨日消えた男(41/東宝)◆脚本:小国英雄 撮影:伊藤武夫 出演:長谷川一夫、山田五十鈴、高峰秀子、徳川夢声、川田義雄、清川虹子 待つて居た男(42/東宝)◆脚本:小国英雄 撮影:山崎一雄 出演:長谷川一夫、山田五十鈴、高峰秀子、榎本健一、鳥羽陽之助、沢村貞子

阿波の踊子(戦後改題:剣雲鳴門 しぶき)(41/東宝)◆原作・脚本:山上伊太郎 撮影:伊藤武夫 出演:長谷川一夫、入江たか子、高峰秀子、月田一郎、黒川弥太郎、清水金一 浪人街(57/松竹)◆原作:山上伊太郎 脚色:マキノ雅弘、村上元三 出演:近衛十四郎、藤田進、高峰三枝子、河津清三郎、北上弥太郎、龍崎一郎、水原真知子

丹下左膳(53/大映) 續丹下左膳(53/大映)◆原作:林不忘 脚色:伊藤大輔(續)では構成のみ、柳川真一 撮影:竹村康和 出演:大河内傳次郎、水戸光子、山本富士子、田中春男、沢村国太郎

やくざ囃子(54/東宝)◆脚本:松浦健郎 出演:鶴田浩二、岡田茉莉子、河津清三郎、すっ飛び駕(52/大映)◆原作:子母沢寛 脚本:伊藤大輔 撮影:宮川一夫 出演:大河内傳次郎、河津清三郎、長谷川裕見子、三浦光子、黒川弥太郎

一本刀土俵入(57/東宝)◆原作:長谷川伸 脚色:井手雅人 撮影:飯村正 出演:加東大介、越路吹雪、田崎潤、尾上九朗右衛門、中田康子、田中春男 江戸の悪太郎(39/日活)◆脚本:比佐芳武 撮影:石本秀雄 出演:嵐寛寿郎、轟夕起子、星玲子、志村喬、市川小文治、原健作、香川良介

東海一の若親分(61/東映)◆脚本:マキノ雅弘、小野竜之助 撮影:坪井誠 出演:中村錦之助、平幹二郎、丘さとし、水島道太郎、田中春男、月形龍之助、千原しのぶ、渥美清 續清水港(戦後改題:清水港代参夢道中)(40/日活)◆脚本:小国英雄 撮影:石本秀雄 出演:片岡千恵蔵、広沢虎造、轟夕起子、美ち奴、沢村国太郎、小川隆、沢村アキヲ、志村喬

次郎長遊俠伝 天城鴉(55/日活)◆脚本:八木保太郎 撮影:横山実 音楽:松井八郎 出演:河津清三郎、森繁久彌、北原三枝、森健二、千秋実 次郎長遊俠伝 秋葉の火祭り(55/日活)◆脚本:八木保太郎、毛利三四郎 撮影:横山実 出演:河津清三郎、森繁久彌、北原三枝、三島耕、田中春男

※【お詫び】「次郎長三国志」シリーズ全9部のうち、6部・7部・9部の3作は上映可能なプリントがないため上映できません。

【ご入場料金】一般 1300円 学生 1200円 情報誌各 100円引 友の会 1000円 シニア・身障者 900円 ラスト 1本 800円 【前売券】一般 1100円 学生 1000円 3回券 3000円



天の巻

カッドウ屋・マキノ、伝説の自伝、25年ぶりに復刊!

マキノ雅弘自伝 映画渡世

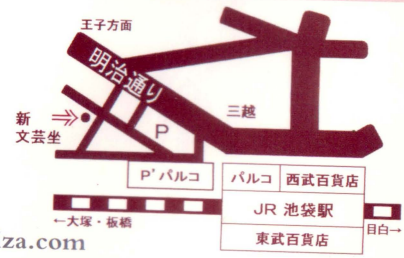
9月中旬・平凡社刊 〈天の巻〉〈地の巻〉全2冊 各巻定価:本体2000円(税別) 「次郎長三国志」「日本俠客伝」シリーズなど、生涯に261本の作品を放ち、時代劇・仁俠映画の名匠として、「活動屋人生」を駆け抜けていった、天才監督・マキノ雅弘。日本映画の父・牧野省三の長男として4歳で映画デビュー後、大正・昭和の怒濤の映画界の青春時代を描き出した「天の巻」。そして、戦中・戦後の混乱期を経て、数々の仁俠映画の傑作を量産し続けた「地の巻」へ。日本映画と共に走り続けた、カッドウ屋・マキノ雅弘の、痛快無比の伝説の自伝が25年ぶりに甦る!



地の巻

感動はスクリーンから 新文芸坐

東京・池袋東口 TEL. 03-3971-9422 www.shin-bungeiza.com



山田宏一の見る楽しみ、読む楽しみ Part 2

『次郎長三国志』と任侠時代劇 22本一挙上映!

カッドウ屋・マキノ雅弘の神髓

山田宏一・著「次郎長三国志」マキノ雅弘の世界(ワイス出版)刊行記念



次郎長三国志 オ一部 次郎長賣出す
次郎長三国志 オ二部 次郎長初旅
次郎長三国志 オ三部 次郎長と石松
次郎長三国志 オ四部 勢揃い清水港
次郎長三国志 オ五部 段込み甲州路
次郎長三国志 オ八部 海道一の暴れん坊
彌次喜多道中記
鴛鴦歌合戦
昨日消えた男
待つて居た男
阿波の踊子
浪人街
丹下左膳
續丹下左膳
やくざ囃子
すっ飛び駕籠
一本刀土俵入
江戸の悪太郎
東海一の若親分
續清水港
次郎長遊俠伝 天城鴉
次郎長遊俠伝 秋葉の火祭り

9/14(土) 2:05(PM)より
長門裕之さん舞台挨拶
「マキノ監督の甥、マキノ監督の『續清水港』(40)でデビュー」
9/21(土) 1:40(PM)より
伊藤俊也監督&澤井信二郎監督トークショー
「マキノ組に参加した2人の監督」

2002年 9月14日(土) 27日(金) 新文芸坐
東京・池袋東口 TEL. 03-3971-9422

見る楽しみ、読む楽しみ

文章／次郎長三国志——マキノ雅弘の世界より
キャッチコピー／山田宏一

ときには歌うように軽快に、小気味よく、ユーモラスに、またときには、冗長なまでに情緒たっぷり、しみじみと、緩急自在の巧みな語り口——それはマキノ節とよばれた。テーマや主題ではなく、その語り口のうまさで見せた。

何でも撮った職人監督だった。「作家性」をつらぬきとおすためにけっして妥協しないという「完全主義者」ではなく、どんな題材でも見事にこなして、どんな条件でも見事に撮り上げてしまふ「間に合わせ」の達人であり、早撮りの名手であった。同じ芝居をくりかえして演じてみせる芸人のように、同じ作品を何度も撮ることのできたリメイクの名匠でもあった。「手抜き」や「やっつけ」仕事も多い。だが、そのすべてに魅惑された。どんなシーンにも映画の手を心得たうまさ、たくまざる至芸かにじみ出ているだけでなく、映画のところが躍動していたからである。

唄はちゃっけ節、男は次郎長
喧嘩出入りもお祭り気分
涙と笑いの任侠時代劇

『次郎長三国志』

(オ一部・次郎長賣り出す オ二部・次郎長初旅)



オ一部・次郎長賣り出す



オ二部・次郎長初旅

「清水港」の文字とともに、廣沢虎造の浪花節が聞こえてくるという浪曲仕立ての喜劇と言ってもいいくらいの軽快な導入部だ。居酒屋で昼間から飲んだくれているのは、張子の虎三と次郎長とよばれる米屋の息子、長五郎である。

喧嘩入りで草鞋をはいた次郎長は旅先で名古屋弁まるだしの桶屋のせがれ、鬼吉の癖のある乱暴者を急場から救い、また清水に帰ってくるが、そのあとを追いかけてきた鬼吉が「約束どおり子分にしてくれと迫り、強引に盃をもら。押しかけ子分第一号である。「おれはまだ子分を持つほどの男でねえよ」とぐずる次郎長に「ねえ、子

分にしてくれよ」とねだる駄々子のような鬼吉がおかしい。

二部は冒頭から、ひそやかな婚礼と別れの儀式——喧嘩の後始末のため、次郎長はお蝶と二世の契りの盃をかわしたその足で、大政、鬼吉、綱五郎、法印大五郎という四人の子分とともに、旅立つ。途中、やくざ二人を相手に果たし合いをしている前髪の増川の仙右衛門を救い、かけおちしてきたその恋人おきねとともに、次郎長のかつての兄弟分、沼津の佐太郎の世話になる。佐太郎の女房お徳は一張羅の着物を質入れて次郎長一家を歓待する。

佐太郎の女房が身につけている着物まで売って酒肴を出して亭主の男を立てようとするのに感じ入った一行は、「ああ、酔った、酔った」と少量の酒に酔いどれたふりをしてこたえるのだ。

女だてらに壺さばき
男伊達衆がうつつをぬかす
腕と度胸と粋のよさ

『次郎長三国志』

(オ三部・次郎長と石松 オ四部・勢揃い清水港)



オ二部・次郎長と石松



オ四部・勢揃い清水港

黒駒の勝蔵の代貸、大岩の妹、おもととねんごろになって、その婚約者の子分や大岩の一味に追われる追分三五郎をひょんなことから救うことになった石松が、そのまま三五郎と道連れになり、とある宿場の賭場で投げ節お仲の艶な壺さばきに幻惑されてスッテンテンになり、ともにお仲さんに惚れてしまうのだが、「やせぎすの、すりとした形のいい女」が三味線を抱え、門付の道中姿で登場するところから、うっとりするほど魅力的な投げ節お仲だ。頬骨が高く、眼が大きくて細面の、笑うとえくぼができて色っぽいお仲さんが、女だてらに、といっても白い細い手で壺をあける姿はじつに美しく、熱が入ってきて、着物の右袖をぬいでしまい、長襦袢の袖をほつそりとした白く美しい二の腕まで

まくって、おまけに立膝をするので、女に惚れられるのが自慢の三五郎も女にからつきもてそうにない石松も同様に目がくらんでしまう。

シリーズは一作ごとに新しいキャラクターを登場させてプロットやエピソードを活性化させるのが特徴だが、四部で生彩を放つのはやくざになりたくて次郎長親分にたのみこむ元気がいいだけを取り柄のような漁師、三保の豚松。「土地の堅気の者は子分にしない」という次郎長親分に「おらあ、博奕打ちになりてえんだ。子分にしてくる」と食いきがる。

泣いてくれるな、やくざの唄です
馬鹿は死ななや治らない
石松開眼!

『次郎長三国志』

(オ五部・殴込み甲州路 オ八部・海道一の暴れん坊)



オ五部・殴込み甲州路

五部は秋祭りに賑わう清水港。「寿々家」のお千ちゃんの嫁入りに失恋の二人組、桶屋の鬼吉と関東綱五郎がやけ酒をあおって、涙ながらに祝福の唄をうたいながら駕籠をかつぐ。森の石松も追分三五郎もまだお仲さんに夢中だ。どいつもこいつも末練がましく、だらしくぐすつて、大政までが別れた女房、ぬいが忘れられず、槍を持って泥酔し、黒田節をうたい、涙ぐむ。

一方では次郎長とお蝶のオノロケにあてられた法印の大五郎が、「ひとつ殴らせてもらいまさ」と親分の頭をコツン。すると、お蝶が「あたしも殴って」。これには女の投げ節お仲もまいって、「姐さん、惚れたわ」とマキノ調のオノロケ、バタバタ芝居がつづ。

八部はお蝶の法事を終えた次郎長の愛刀を讃岐の金比羅様へ納める役をおおせつかった石松が、讃岐の色街の娼家で女郎の夕顔の濡れた瞳に惚れ、身受山鎌太郎の情で夕顔を身請けして女房にすることが決まるが、帰途、草鞋をぬいだ都田の吉兵衛一家に闇討ちをかけられ、無念の死を遂げる。

シリーズ屈指の傑作であることは間違いない。マキノ監督は正博時代に片岡千恵蔵の森の石松で「清水港代参夢道中」というやはり金比羅代参道中を描いた喜劇の傑作を撮っているが、それと

パピプペ、パピプペ、パピプペポ…
へっぴり腰の珍道中
日本最初のオペレッタ時代劇

『鴛鴦歌合戦』『彌次喜多道中記』



鴛鴦歌合戦



彌次喜多道中記

日本一の美男スター、長谷川一夫の名探偵!
艶やかに謎をよぶミステリー時代劇!

『昨日消えた男』『待って居た男』



昨日消えた男



待って居た男

強い奴に弱い奴、太い奴に細い奴、
面白いのや哀しいのが集って…
お面をつけて長谷川一夫の海賊が踊る

『浪人街』『阿波の踊子』(戦後改題／『剣雲鳴門しぶき』)



浪人街



阿波の踊子

妖刀が夜泣きをし、血を求める!
ござんじ大河内傳次郎のシェイは丹下、
名はシャゼン!

『丹下左膳』『續丹下左膳』



丹下左膳



續丹下左膳

硬派大河内傳次郎の
天保六花撰
軟派鶴田浩二の
股旅三度笠

『すっ飛び駕籠』
『やくざ囃子』



やくざ囃子

すっ飛び駕籠

抱寝の長脇差、長谷川伸の世界
静かなる男アラカンの異色時代劇
『一本刀士俵入』『江戸の悪太郎』



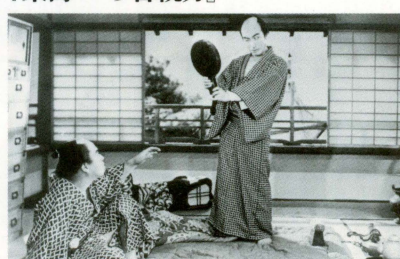
一本刀士俵入



江戸の悪太郎

千恵蔵の石松、
タイムスリップして抱腹絶倒喜劇
錦ちゃんの次郎長、「三国志」青春篇

『續清水港』(戦後改題／『清水港代参夢道中』)
『東海一の若親分』



續清水港



東海一の若親分

三国志から遊侠伝へ
次郎長一家ふたたび勢揃い、
『次郎長遊侠伝・天城鴉』
『次郎長遊侠伝・秋葉の火祭り』



次郎長遊侠伝・天城鴉



次郎長遊侠伝・秋葉の火祭り